

Short Shorts Film Festival 2005開催！

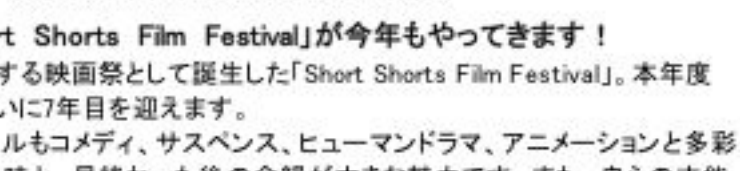
「Short Shorts Film Festival Asia」と同時開催！

6月29日(水)～ 東京を皮切りに全国でツアー開催



「ショートフィルム」という一つのジャンルを映像文化の中で確立したい。」

「Short Shorts Film Festival」過去6年間のミッションとしてきたこの思いも、多くの映画人や企業によるショートフィルムの制作、劇場やwebでの公開などにより、着実に達成されてきました。そして昨年、本映画祭はアカデミー賞公認映画祭に認定され、国内、さらにアジアでも最大級のショートフィルム専門映画祭として注目されています。今年7月目を迎えた映画祭は、「Short Shorts Film Festival Asia」との合同開催など、更なる盛り上がりをめざすべく新たな挑戦に取り組んでいます。



今年も、世界中から集ったショートフィルムが並びます！

■日本初！アカデミー賞公認の映画祭「Short Shorts Film Festival」が今年もやってきます！

日本で初めて本格的な短編映画をフィーチャーする映画祭として誕生した「Short Shorts Film Festival」。本年度、本映画祭は1999年の第1回開催から数えて、ついに7年目を迎えます。

短い作品で、1、2分、長くても30分程度、ジャンルもコメディ、サスペンス、ヒューマンドラマ、アニメーションと多彩なショートフィルムは、短編ゆえのシャープな切れ味と、見終わった後の余韻が大きな魅力です。また、自らの才能をアピールするアイテムとして、欧米では、無名の映画監督がこのショートフィルムをきっかけに一躍スターダムにのしあがることが珍しくありません。ルーカス、スビルバーク、ベッソンなどの監督も、ショートフィルムでその才能をアピールし、注目されたことがはじまりでした。

そんなショートフィルムの魅力が詰まった本映画祭。7年目の今年は更なる飛躍の年と位置付け、昨年、石原慎太郎東京都知事の発案で開催された「Short Shorts Film Festival Asia」との同時開催が決定。これにより、2つの映画祭合わせて世界中から約90本ものショートフィルムが原宿の街に集まることになります。アジア最大のショートフィルムの祭典の更なる挑戦にご期待ください。

■本年度特別上映は、今熱い！メキシコ特集！Bernal & Cuaron Programの上映決定！

「どんな有名監督でも、最初の一步は“Short Film”から。」「Short Shorts Film Festival」では、初年度のジョージ・ルーカス監督作品から始まり、毎年著名監督の初期作品を『マエストロ・ショート』と題して上映してきました。本年度の『マエストロ・ショート』には、メキシコ特集として、『大いなる遺産』『ハリ・ポッターとアズカバンの囚人』と近年完成度の高い作品を揃えているアルフォンソ・キュアロン監督の初期作品『Falling Angel』の日本初上映が決定。また「モーターサイクル・ダイアリーズ」のチェ・ゲバラ役が世界中で話題となったガエル・ガルシア・ベルナルの秘蔵ショートフィルム2本の日本初上映が決定いたしました。

■昨年の「スーパードライアワード」受賞監督中尾浩之による新作『The Secret Show』が完成！

昨年度から日本のショートフィルム文化の育成のために新設されたナショナル・コンペティション部門。グランプリアワードとして設置された「スーパードライアワード」を受賞した作品『ZERO』の中尾浩之監督には、スカラシッププログラムとして、次回作の製作費300万円を提供いたしました。

そしてこのたび、第1回目の受賞監督中尾浩之監督のスカラシップ作品『The Secret Show』（主演：要潤）が完成。ついに本映画祭でプレミア上映いたします。

-1-

SHORTSHORTS FILM FESTIVAL 開催概要

▼東京開催概要

★「Short Shorts Film Festival 2005」

日時 : 2005年6月29日(水)～7月4日(月)※7月3日(日)に授賞式を予定
場所 : ラフォーレ原宿(東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)
上映作品 : 【公式コンペティション】
5プログラム(International)
3プログラム(National)
: 【特別上映】(The Secret Show)
※各プログラムに1作品上映予定

オフィシャルホームページ : http://www.shortshorts.org

★「Short Shorts Film Festival Asia」

日時 : 2005年7月1日(金)～7月4日(月)※7月3日(日)に授賞式を予定
場所 : 原宿アストロホール(東京都渋谷区神宮前 4-32-12 ニューウェイブ原宿 B1)
上映作品 : 【公式コンペティション】
4プログラム(International <Asia>)
3プログラム(National)
: 【特別上映】(The Secret Show)
※各プログラムに1作品上映予定
ベトナム特集(予定)

オフィシャルホームページ : http://www.shortshorts.org/asia2005/

★「六本木ヒルズオールナイトスクリーニング」※上映プログラムは未定

日時 : 2005年6月30日(木)～7月2日(土)

場所 : ヴァージンシネマズ六本木ヒルズ

※映画祭の表記について

本映画祭の掲載に当たっては、下記いずれかの表記をお願い致します。

SHORT SHORTS FILM FESTIVAL 2005

SHORT SHORTS FILM FESTIVAL 2005

Short Shorts Film Festival 2005

Short Shorts Film Festival 2005

ショートショート フィルムフェスティバル 2005

ショートショート フィルムフェスティバル 2005

SHORT SHORTS FILM FESTIVAL ASIA

SHORT SHORTS FILM FESTIVAL ASIA

Short Shorts Film Festival Asia

Short Shorts Film Festival Asia

ショートショート フィルムフェスティバル アジア

ショートショート フィルムフェスティバル アジア

-2-

SHORTSHORTS FILM FESTIVAL 今年度上映作品について

世界中のフィルムメーカーから公募で集められた熱のこもった応募作品に加え、映画祭の国際ネットワークを駆使して集められた、この映画祭ならではの、海外話題作をプログラムしてご紹介します！

▼一般プログラム

国際的に知名度の上でこの本映画祭には、今年も世界中から2000本以上もの応募作品が集まりました(「Short Shorts Film Festival 2005」「Short Shorts Film Festival Asia」合計)。この膨大な、国際色豊かな応募作品の中から日本の実行委員会が「オフィシャルセレクション」として選考。上映作品は、アワードの審査対象作品となります。

●「インターナショナル・コンペティション部門」(SSFF:全5プログラム/SSFF Asia全4プログラム)

普段あまり見ることができない日本未公開の海外作品を中心に紹介します。※「Short Shorts Film Festival Asia」では、アジア各国から集められた作品を上映します。

●「ナショナル・コンペティション部門」(全3プログラム)

日本発のショートフィルムを世界に紹介する場としても各国で注目を浴びてきた本映画祭。ショートフィルムという文化になじみの無かった日本でも、近年、大きく状況が変化し、応募作の量、質ともに格段に向上しています。昨年設立された、アサヒビール株式会社協賛による「スーパードライアワード」が今年も導入されます。上映作品数を大幅に増やし、3プログラム上映いたします。日本発の若き才能にご注目ください。※上映作品は、SSFF 2005、SSFF Asia共通となります。

▼特別プログラム

《マエストロ・ショート》Short Shorts Film Festival 2005

「どんな有名監督でも、最初の一步は“Short Film”から。」「Short Shorts Film Festival」では、初年度のジョージ・ルーカス監督作品から始まり、毎年著名監督の初期作品を『マエストロ・ショート』と題して上映してきました。本年度の『マエストロ・ショート』には、メキシコ特集として、『大いなる遺産』『ハリ・ポッターとアズカバンの囚人』と近年完成度の高い作品を揃えているアルフォンソ・キュアロン監督の初期作品『Falling Angel』の日本初上映が決定。また、「モーターサイクル・ダイアリーズ」のチェ・ゲバラ役が世界中で話題となったガエル・ガルシア・ベルナルの秘蔵ショートフィルム2本を日本初上映いたします。

《ベトナム・ショートショート》Short Shorts Film Festival Asia

今年は、ベトナム戦争終戦30周年です。「Short Shorts Film Festival 2005」では、その節目の年に、ベトナムのショートフィルムを特別上映します。普段余り観ることのできない独特の世界観をもったベトナム作品をこの機会に是非ご期待ください。

SHORTSHORTS FILM FESTIVAL アワード

コンペティション対象作品より下記アワードがそれぞれ選定されます。

※下記全ての受賞作品は、上映作品の中から審査員が選定するものとする

《Short Shorts Film Festival 2005》

《優秀賞:Best Short》International部門 1作品

《優秀賞:Best Short》National部門 最高賞 1作品

※(副賞として、スーパードライアワードが授与されます)

《審査員特別賞:Special Mention》International/National部門 各1作品

《ティエーフエスアワード:TFS Award》International部門 1作品

《Short Shorts Film Festival Asia》

《優秀賞:Best Short》International(Asia)部門 1作品

《優秀賞:Best Short》National部門 最高賞 1作品

※「Short Shorts Film Festival 2005」と共通

《審査員特別賞:Special Mention》International(Asia)部門 1作品

《Short Shorts Film Festival 2005/Short Shorts Film Festival Asia》

《グランプリ:Grand Prix》2映画祭の全てのコンペ対象上映作品の中で最高賞1作品

《オーディエンスアワード:Audience Award》

※1 グランプリ受賞作品が、2006年度、アカデミー賞の公式スクリーニングに、ノミネートされることになります。

※2 グランプリ受賞作品が、ナショナルコンペティション部門への応募であった場合、「スーパードライアワード」は同受賞作品に与えられず、(この場合、National部門《優秀賞:Best Short》には与えられません)

-3-

SHORTSHORTS FILM FESTIVAL Mission

「Short Shorts Film Festival」は、ショートフィルムを通してビジュアルカルチャーの国際的な交流をはかることをミッションとしてスタートしました。過去6年間で全国8都市、8会場で12万人以上の観客を動員。更に、国内ツアー開催に加え、シンガポール、ロサンゼルスなど海外にも開催地を広げ、「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニーク」な映画祭として注目を集め、現在ではアジア最大のショートフィルムの祭典に成長しています。

アジアを起点とするショートフィルムのムーブメントの中心的存在として、①人材の育成発掘②地域社会との結びつきの活性化③文化交流④次世代型ビジュアルコンテンツの開発 という4つの柱を中心にさらに成長していきます。

■「ショートフィルムを通じたムーブメントからグローバルな「Visual Art Community」の創造」

ビジュアルカルチャーの原点ともいえるショートフィルム。現在進行形の情報産業社会を占う未来地図としてのショートフィルムを通じて、私たちは、世界に点在するビジュアルメーカーの集結による国境を越えた活動と、21世紀型コミュニティーの創造を、日本を起点に推進します。

■「映像文化・映像産業とテクノロジーを考える」

今後のアートシーンを牽引する原石の輝きを秘めたショートフィルム。20世紀に開花した映像文化は、常にそれを支える人間の知恵と英知の結晶であるテクノロジーと表裏一体で成長してきました。21世紀をむかえた今、情報産業大革命の最中において、映像文化とテクノロジーの関係を更に深く考察していきます。

SHORTSHORTS FILM FESTIVAL 協力ネットワーク

「Short Shorts Film Festival」の実施、運営は、様々な方々の協力ネットワークを抜きに語ることができません。本年度開催においても、6年間で培ってきたネットワークの力で、より進化した映画祭を創りあげていきます。

●ジョージ・ルーカス氏

本映画祭の実施意義をご理解いただき、第1回開催時に自らの作品をご提供いただいたジョージ・ルーカス氏。さらに経歴的に支援したいとの立場から、本年度実施にあたって公式な激励メッセージを寄せていただきました。ジョージ・ルーカス氏が日本の映画祭を応援するのは過去に例がないとのことでした。

●全国に広がる開催都市

各開催都市では、それぞれ地域自治体や、商工会議所、商店会、ボランティアグループなどを巻き込んだフィルムフェスティバルとして演出していきます。本年度は、札幌、函館、名古屋、大阪、福岡、松本、広島での開催を予定しております。

SHORTSHORTS FILM FESTIVAL 宣伝活動

■Short Shorts Film Festival 2005メインビジュアル

ショートフィルムは長編映画に比べ、よく原石という例えが使われます。私共は、ショートフィルムを通常の原石で無く、それ自身が、輝く宝石としての性質を併せ持つ天然の原石、クリスタルに例え、メインビジュアルのコンセプトに掲げました。

青、赤、二つのクリスタルは、Short Shorts Film Festival 2005、Short Shorts Film Festival Asiaの兄弟開催を表しています。



■「Short Shorts Film Festival 2005」オフィシャルウェブサイト

本年も「Short Shorts Film Festival」のオフィシャルウェブサイトをオープンいたします。

映画祭インフォメーションや上映作品の紹介だけでなく、フィルムメーカーのインタビュー、映画祭に関わる人々のエピソード、実施会場にちなんだ情報など、きめの細かい情報の発信を予定しています。

アドレスは、www.shortshorts.org。

なお昨年度のウェブサイトも、このアドレスのバックナンバーにてご覧になれます。



■「Short Shorts Lounge」Webサイト

■一般の方からのお問い合わせ先

ショートショート フィルムフェスティバル事務局

TEL.03-5214-1233

■報道関係の皆様からの掲載に関するお問い合わせ先

《作品写真提供、ポス、作品VTRその他の資料の貸出等もお申し付け下さい。》

株式会社サニーサイドアップ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8

TEL.03-6825-3388 FAX.03-5413-3050

担当: 小池/橋本/松山

-5-